

科目名称：	幼児と言葉	
担当者名：	三浦 哲志、太田 淳子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
領域「言葉」の指導に必要な基礎的知識を身につける。具体的には、言葉の意義と機能や、言葉の発達過程について学び、俳句の実践を通して言葉に対する感覚を豊かにするとともに、言葉にハンディのある子どもへの対応についても理解する。		
授業の達成目標・到達目標		
①言葉の意義と機能について、グループワーク等により学びを深めている。 ②言葉の発達過程について、映像資料等を活用して理解している。 ③俳句の実践を通して、言葉に対する感覚を豊かにしている。 ④言葉にハンディのある子どもへの対応について、グループワーク等により理解している。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)		60	30	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
言葉の意義と機能への理解	授業内容をよく理解し、他者に説明したり、記述したりすることができる。	授業内容をある程度理解し、他者に簡単に説明することができる。	授業内容を一応理解しているが、曖昧な部分がある。	授業内容をあまり理解しておらず、他者に説明することができない。
言葉の発達過程への理解	授業内容をよく理解し、他者に説明したり、記述したりすることができる。	授業内容をある程度理解し、他者に簡単に説明することができる。	授業内容を一応理解しているが、曖昧な部分がある。	授業内容をあまり理解しておらず、他者に説明することができない。
俳句の知識・技術を理解し、感性豊かな言語表現ができる。	俳句の決まりを守って、感性豊かな俳句を詠むことができる。	俳句の決まりをある程度守って、感性豊かな句を詠むことができる。	俳句の決まりを守って句を詠むことができる。	俳句の決まりを守って句を詠むことができない。
言葉にハンディのある子どもへの理解	授業内容をよく理解し、他者に説明したり、記述したりすることができる。	授業内容をある程度理解し、他者に簡単に説明することができる。	授業内容を一応理解しているが、曖昧な部分がある。	授業内容をあまり理解しておらず、他者に説明することができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業の概要説明、言葉に関する小論文の作成	言葉の意義と機能についてテキスト該当箇所を予習する	45分
第2回 「言葉をめぐるワークショップ(グループワーク)その1」 振り返り用紙記入	グループワークでの学修成果について復習する。	45分
第3回 「言葉をめぐるワークショップ(グループワーク)その2」 振り返り用紙記入	言葉の意義と機能について要点を復習し小テストに備える。	45分
第4回 「言葉の発達過程を学ぶ～0歳児から1歳児の言葉 その1」DVD視聴、グループワーク、小テスト、振り返り用紙記入	DVD視聴とグループワークでの学修成果について復習する	45分
第5回 「言葉の発達過程を学ぶ～0歳児から1歳児の言葉 その2」DVD視聴とグループワーク、振り返り用紙記入	DVD視聴とグループワークでの学修成果について復習する	45分
第6回 「言葉の発達過程を学ぶ～保育現場での成長・発達その3」DVD視聴とグループワーク、振り返り用紙記入	DVD視聴とグループワークでの学修成果について復習し小テストに備える	45分
第7回 「言葉の習得と小学校との連携(演習)」 小テスト、振り返り用紙記入	言葉の習得について要点を復習し小テストに備える	45分
第8回 「領域『言葉』のねらいと内容～3ガイドラインの比較(演習)」 小テスト、振り返り用紙記入	領域『言葉』について要点を復習する。	45分
第9回 「言葉に関する感覚を豊かにする その1 俳句の基礎知識・実作」	学修内容を踏まえて俳句を自作してみる	45分
第10回 「言葉に関する感覚を豊かにする その2 俳句の句会・鑑賞」	学修内容を踏まえて選句して講評する	45分
第11回 「気になる子どもへの言葉の発達サポート(演習)」 振り返り用紙記入	言葉の発達サポートについて要点を復習する。	45分
第12回 「日本語を母国語としない子どもの言葉の発達 その1(演習)」 振り返り用紙記入	日本語を母国語としない子どもの言葉の発達について要点を復習する。	45分
第13回 「日本語を母国語としない子どもの言葉の発達 その2 (グループワーク)」 振り返り用紙記入	グループワークでの学修成果について復習し小テストに備える	45分
第14回 「発達に応じた絵本の選び方と赤ちゃん絵本の特徴(グループワーク)」 小テスト、振り返り用紙記入	絵本に関するグループワークでの学修成果について復習し小テストに備える	45分
第15回 まとめと今までの振り返り、小テスト	これまでの学修成果を全て復習する	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、授業内容の復習と小テストの対策が必要になる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内提出課題 (30%)、授業内発表内容等 (10%)、小テスト (60%)

課題に対してのフィードバック

授業内課題は評価して返却する

教科書・参考書

テキスト 『コンパス 保育内容 言葉 第2版』 テキストは毎回の授業や事前事後学習で使用する
参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」